

一般質問



リサイクルの推進と防災士について



会派 Kiku ● 田中 雄二郎 議員

リサイクルの推進について

問 湖南市の循環型社会への取組と他市町の事業を踏まえた湖南市での新たな取組は。

答 本市では、ごみの減量と資源の有効活用を推進し、滋賀県のサーキュラーエコノミー実証事業にも参画しています。新たな取組は民間事業者の活動に配慮し、市の『交換銀行』を含め、リユース・リサイクルの推進をしています。

庁舎整備に伴い不要となる備品について

問 単に廃棄するのではなく、費用を抑えた廃棄物の削減と再資源化に努め、他の公共施設で再利用可能なものは積極的に活用し、効果的かつ経済的な処分方法を実施します。

防災士について

防災士連絡会と地

地域の防災組織の関わりについて

答 令和7年度までに湖南市で335人の防災士を育成しました。防災士連絡会は防災リーダーとしてのスキルアップや情報共有などをを行い、地域防災計画の策定や見直しにおいて知見を活かす役割を担っています。

災害から市民を守る上で、地元企業や市内就労者への防災士育成の働きかけや理解も必要なのは。

答 防災士育成事業は、今年度から福祉避難所の協定先である社会福祉法人や湖南市国際協会への推薦の依頼を行い、受講に繋がります。今後は市内事業所への推薦依頼も検討します。



農業施設工事への補助金について



会派 Kiku ● 松原 栄樹 議員

現在の状況は。

答 市の補助金として「土地改良施設保全事業補助金」があります。

これは、農業用水路や農道などの土地改良施設について、地域が主体となって行う改修・改築等を支援することにより、農業生産基盤の適切な保全を図ることを目的とするものです。対象事業費の上限を150万円とし、その4割を補助する制度です。補助金の上限額は60万円となっています。

また、事業規模や施設の種類、受益面積等に依じて、国や県の補助制度を活用できる事業があります。

問 近年の資材価格や労務費の高騰は事業・工事費の増大につながっています。対象事業費の上限150万円は見直しすべきと思いますが如何ですか。そして、補助率の4割

も。

答 物価や労務費の動向、また他市町の状況等も踏まえつつ、本市には「補助金等の見直しに関する指針」がありますので、その趣旨に則り調査・研究を進めます。

〓 中学校の部活動の地域移行について

問 昨年12月、新たに国がガイドラインを示しました。令和8年度から令和13年度までの6年間を「改革設定期間」としています。進捗状況は。

答 完全に地域展開できている部活動は現在のところありませんが、剣道部が休日の活動を湖南市剣道地域クラブとして先行的な取組みを進めています。男子バレーボール・ソフトテニス、軟式野球においては地域クラブとしての体制整備や連携をしています。